

「外科病棟マニュアル 病棟担当医のチューブマネジメント」

北海道大学教授 田辺 達三 編 11 氏分担執筆

横浜市立大学教授・第 1 外科

松 本 昭 彦

最初に本書の題名を見たときには、具体的にどのような内容の書物なのかを知ることができなかった。それは、このような題名の書物を見たことがなかったことにもよるが、日常の臨床で頻繁に行っているチューブの取り扱いや処置についての書物が出版されようとは想像もしていなかったからである。

この本は今までの既成概念からは異なった考え方から編集された書物であるが、内容を見るとそれがいかに必要なものであったかがわかる。すなわち、外科医に限らず医師になったものであれば、1 日のうちに何度かは必ず行うであろう処置の方法

が極めて具体的に、懇切丁寧に書かれているのである。このようなことは、従来は先輩の医師から後輩の医師へと、自分自身の経験として伝えられ、教えられたものであった。なぜならば、このようなことは多分に“コツ”といったような部分が非常に多いからである。したがって、優れた親切な先輩医師に指導されればよいが、ときにはただ“やっておけ”という指示を受けるだけであり、失敗を重ねながら泣く泣く努力を重ね、ようやく上達、習熟することがあった。いやむしろこのような場合のほうが多かったのである。本書は親切な先輩医師の役割を果たし

てくれるものであり、これが 1 冊あれば、かつてならばその習熟に数年を要したものが短期間に自身の身に付き、正しくかつ確実に毎日の診療を行いうるよう書かれている。また、たくさんの著者によって書かれた書物は、とかく全体の統一を欠きやすいが、編集者の優れた経験と学識から、見事にまで統一され、あたかも 1 人の著者によって書かれたかのように統一され、調和がとれているのも、読者にとっては極めてありがたいことである。内容は実際の診療と実技に関するものであるだけに図によって説明されている部分が多いのでわかりやすいが、説明文を減らし、その代わりにもっと図を多くしたほうが良いと思われる個所も多く、文章が多く、説明が冗長になっていると思われる部分は次の機会に一考していただければ読者としてはありがたい。ともあれ、若い修練中の医師にはもちろん、教育する立場にある医師にとっても参考になる、近年にない良書である。

A 5 判 224 頁 1988 年発行 定価 3,502 円(税込み)送料 300 円

医学書院 刊